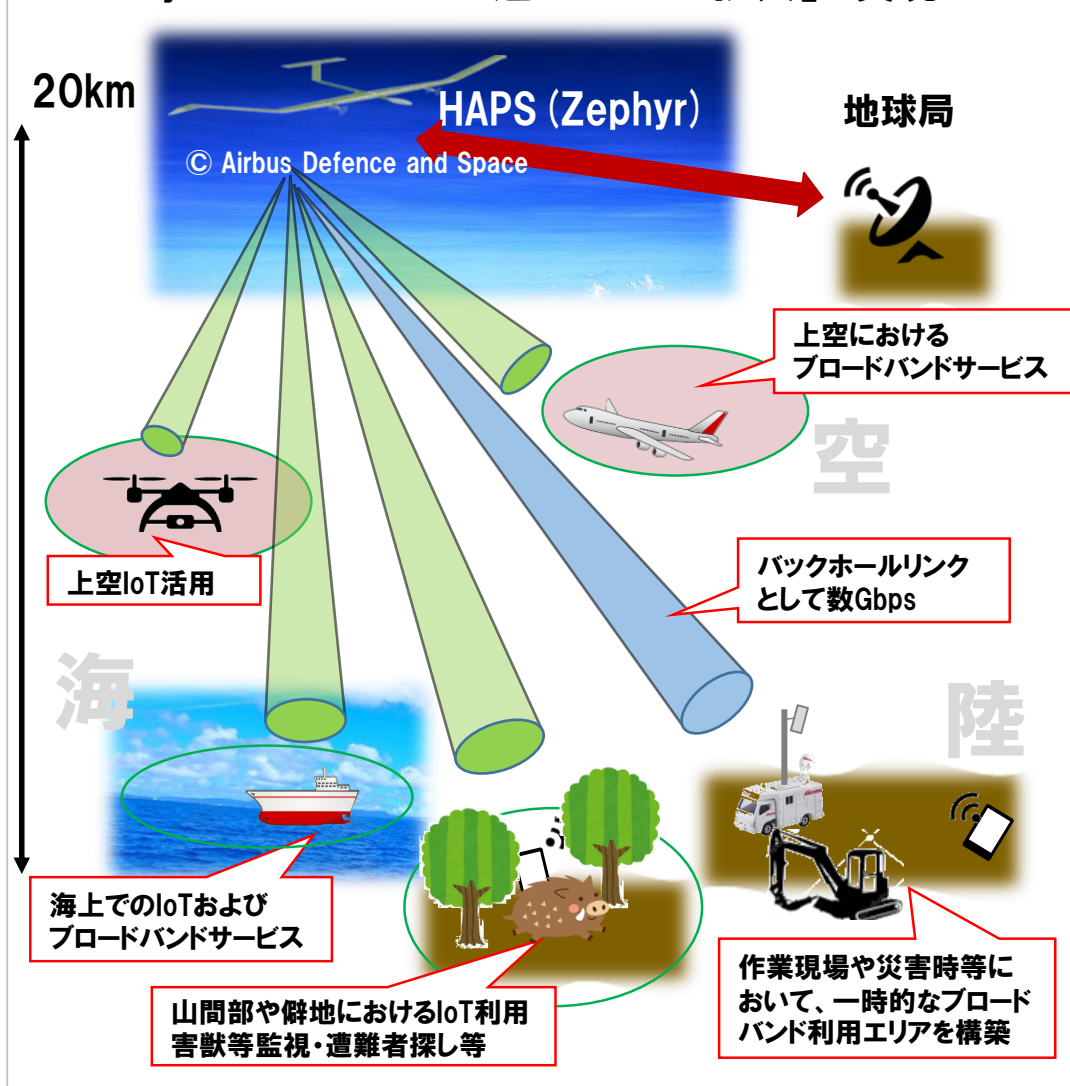


## Beyond 5Gにおける「超カバレッジ拡大」を実現



## 提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

構想/研究段階

- 地理的な制約を受けづらい高高度疑似衛星(HAPS:High-Altitude Platform Station、AIRBUS社製品名:Zephyr)を介し、インフラの整備が困難な陸海空においても、5Gクラスの通信環境を提供可能とすることで、地方創生を含む無線通信の産業利用をさらに推進します。

## 概要

- AIRBUS社が開発したHAPSである「Zephyr S」の模型を展示しています。
- 高度20km付近の成層圏に長期間滞空可能なHAPSによって、衛星より近距離での通信が可能となり、衛星通信のメリットを保持しつつ、より高速な通信環境を構築することが期待できます。
- 超カバレッジ拡張による5G産業利用のさらなる拡大を目指し、次の取組にチャレンジします。
  - 地上の移動基地局とHAPS間における数Gbpsの通信の実現
  - HAPS-端末間での高速通信の実現
  - ペイロード(重量制限)のある機体で、上空の過酷な設置条件の中、長期間安定的に通信できる無線システムを実現

9

産業と技術革新の基盤をつくろう



11

住み続けられるまちづくりを

